

2026 年度

学生募集要項

医学研究科（修士課程）

【試験日】

第1次募集 2025年8月6日(水)

第2次募集 2026年1月14日(水)

(第1次募集により定員に満たない場合のみ実施)

FUJITA HEALTH UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL OF MEDICINE

藤田医科大学大学院 医学研究科

藤田医科大学大学院医学研究科（修士課程）の概要

医学研究科（修士課程）アドミッション・ポリシー

藤田医科大学大学院医学研究科修士課程では、以下のような人の入学を求めている。

1. 2年間で課程を修了するための十分な基礎学力を有している人
2. 疾病に苦しむ人の問題解決に向けて新しい医学・医療研究を推進する目的意識のある人
3. 大学や研究機関において活躍する意欲のある人
4. 自身のプロジェクトを理解し、自立して研究に取り組む情熱のある人
5. 誠実で協調性に優れ、責任感と倫理性を有する人

※性、人種、宗教、性的志向、社会経済的地位、身体能力の如何によって、入学に関する優先性が影響されることはありません。

<目的>

研究知識面、技能面において医科学一般にわたる基礎知識、実験の基礎的手法を修得することで、国民の期待に応える医学研究「新たな治療法、診断法開発を目指した基礎研究を志す人材」を養成することを目的とする。

<修業年限>

2年を標準とする。

継続して大学院に在籍できるのは、標準修業年限の2倍の期間を期限とする。

<履修方法>

学生は、在学期間中に指導教授の指示により、必修科目及び選択科目を30単位以上修得し、修士論文を提出し、最終試験に合格しなければならない。

1. 募集人員と出願日程

専攻名	募集人員
医科学専攻	5名

出願から入学までの日程

事項	日程	
	第一次募集	第二次募集
出願期間	2025年7月9日(水) ～7月18日(金)	2025年12月10日(水) ～12月19日(金)
試験日	2025年8月6日(水)	2026年1月14日(水)
合格者発表	2025年8月22日(金)	2026年1月30日(金)
学納金納付期限	2025年9月17日(水)	2026年2月25日(水)

(注) 第一次募集で定員が充たされた場合は、第二次募集を行わないことがあります。

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者又は2026年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は2026年3月までに授与見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は2026年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は2026年3月までに修了見込みの者
- (5) 日本において、文部科学大臣が指定した外国大学日本校の16年の課程を修了した者又は2026年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は2026年3月までに授与見込みの者
- (7) 文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は2026年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2026年3月31日までに22歳に達する者

3. 出願手続

1) 出願方法

- (1) 出願はインターネットで行います。P.7～P.9「インターネット出願方法」の手順に従い、必要事項を入力、登録した後、入学検定料を「クレジットカード決済・コンビニエンスストア払い・ペイジー払い(銀行ATM)・インターネットバンキング」のいずれかにてお支払いください。

- (2) P.3 4) 提出書類を市販の角型2号(240mm×332mm)の封筒に入れ、封筒のおもてに「インターネット出願ガイド」から印刷した宛名ラベルを貼ってください。
- (3) 出願期間内に大学院医学研究科入試係まで直接持参または郵送してください。(締切日必着) 郵送の場合は必ず「書留速達郵便」としてください。
- (4) 「インターネット出願の登録」「出願書類の提出」「入学検定料の支払い」が以下の期間内に完了していない場合は受験することができません。
- (5) 提出書類に虚偽の記載があった場合は、合格発表後においても入学許可を取り消すことがあります。
- (6) 身体に障害があり、受験及び就学に際し特別な配慮を必要とする志願者は、出願時に申し出てください。

2) 出願期間

	受付開始日	締切日	備考
第一次募集	2025年7月9日(水)	2025年7月18日(金)	郵送の場合も締切日 必着のこと
第二次募集	2025年12月10日(水)	2025年12月19日(金)	

(注) 第一次募集で定員が充たされた場合は、第二次募集を行わないことがあります。

3) 入学検定料 20,000円

- 出願登録期間・入学検定料支払期間

第一次募集 2025年7月9日(水) 0時00分～2025年7月18日(金) 16時59分

第二次募集 2025年12月10日(水) 0時00分～2025年12月19日(金) 16時59分

分

- 上記の登録期間・支払期間を過ぎると払い込みできません。

4) 提出書類

出願確認票	インターネット出願ガイドの「出願方法」を参照し、手続きしてください。
志望理由書	本研究科所定の用紙(A4サイズ)にて作成してください。
卒業等(見込)証明書	出願資格を満たす大学等の卒業(見込)証明書を提出してください(2025年4月以降に、出身学校の発行により厳封されたもの)。
成績証明書	出願資格を満たす大学等の成績証明書を提出してください(2025年4月以降に、出身学校の発行により厳封されたもの)。
在留カード / 特別永住者証明書の写し	本邦に在留している外国人出願者は、「在留カード」、「特別永住者証明書」の写し(両面カラー)を添付してください。
外国語(英語)試験の免除を受けるための証明書類(免除申請者のみ)	以下の資格試験でいずれか一つに該当する場合、外国語(英語)試験を免除します。 資格試験名(条件) ・TOEFL iBT (63点以上) ・IELTS (5.5以上) ・TOEIC L&R (600点以上) 公式認定証、試験成績通知書、いずれかの原本を提出してください。ただし、TOEICに限ってはデジタル式認定証の提出も可とします。資格取得日/試験日が出願日から遡って5年以内のものに限ります。(証書とは異なります。試験成績通知書等の発行は、当該資格試験の事務局にお問い合わせください。)
実務経験証明書	出願資格(9)により出願する者は、出願までに2年以上の医学系実務経験を有する証明書(所属先の発行により厳封されたもの)を提出してください。

(注) 改姓等により卒業証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。
日本語以外で書かれている書類は、日本語の訳文を添付してください。
提出書類の返却には応じられませんのでご了承ください。

5) 願書受付場所・問い合わせ先

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1 番地 98 大学 2 号館 3 階
藤田医科大学大学院 医学研究科 入試係
TEL (0562) 93-2600 FAX (0562) 93-4593 E-mail : med-e@fujita-hu.ac.jp
(受付時間：平日 9 時～17 時 ※土日・祝日除く)

6) 受験票の印刷

【印刷開始日】 〈第一次募集〉 2025年7月31日 (木) 17時00分
〈第二次募集〉 2025年12月26日 (金) 17時00分
受験票は、試験当日必ず持参してください。
P.9「3 受験票の印刷」の手順に従って印刷してください。

4. 試験日程及び試験科目

1) 試験日

〈第一次募集〉 2025年8月6日(水) 集合時間 9時10分

〈第二次募集〉 2026年1月14日(水) 集合時間 9時10分

※外国語(英語)試験の免除通知があった方は、11時00分までに試験会場へお越してください。

2) 試験会場 〈第一次募集〉 藤田医科大学 大学 2 号館 8 階 801 講義室

〈第二次募集〉 藤田医科大学 大学 2 号館 10 階 1001 講義室

3) 試験内容

①学力試験 外国語 英語 (辞書持ち込み可、ただし電子辞書は不可)
専門試験

②口頭試問

4) 試験時間

時間	9 : 30 ~ 11 : 00	15 分	11 : 15 ~ 12 : 15	13 : 15 ~
科目	外国語(英語)	休憩	専門試験	口頭試問

5) 試験科目免除要件

【外国語(英語)試験免除条件】

以下のいずれかの条件を満たしている場合には、外国語(英語)試験を免除します。外国語(英語)試験の免除を希望する者は、出願時に入学願書と併せて当該事項の証明書(原本)を提出してください。証明書は、出願日から遡って5年以内の発行のものに限ります(コピー不可)。

1) TOEFL iBT : 63 点以上

2) IELTS : 5.5 以上

3) TOEIC L&R : 600 点以上

5. 合格発表

1) 発表日

〈第一次募集〉 2025年 8月 22日(金) 14時頃

〈第二次募集〉 2026年 1月 30日(金) 14時頃

2) 発表場所

本学ホームページ (<http://www.fujita-hu.ac.jp/>) に合格者の受験番号を掲載及び**合格者に限り本人に郵送にて通知します。**

電話等による合否についての問い合わせには一切応じません。

掲載期間 〈第一次募集〉 合格発表日 14時～2025年 9月 1日(月) 正午

〈第二次募集〉 合格発表日 14時～2026年 2月 9日(月) 正午

ホームページへの掲載については、情報の安全性に万全を期していますが、データの改ざん、通信上のトラブル、システムの「誤作動」等が発生しても本学は一切の責任を負いません。あくまでも合格確認の補助的な手段であり、正式には本学における掲示発表をご確認ください。なお、携帯電話の専用画面は用意しておりません。掲載には、システム上発表時間が多少前後することがありますので予めご了承ください。また、ホームページ掲載直後には、アクセスが集中し閲覧できないことがあります。その場合、しばらく時間をおいてから再度アクセスしてください。

パソコンの設定によっては、最新情報が表示されない場合があります。このような場合にはブラウザの更新キーを押すなどして表示を最新のものとしてください。

6. 入学手続

1) 合格者は、入学手続要領に従って入学手続を完了してください。

2) 入学手続要領に示す期限までに入学手続を完了しなければ合格を無効とします。

7. 学費納入金

1) 納付期限

〈第一次募集〉 2025年 9月 17日(水)

〈第二次募集〉 2026年 2月 25日(水)

2) 内訳

	一般大学院生
入 学 金	150,000 円
授 業 料	(年) 300,000 円 ※
計	450,000 円

※減免適用後

(注) 1. 学費等の減免について

※ 医学研究科修士課程では、在学期間中授業料年額 750,000 円のうち 450,000 円を減免します。

2. 学費納入金は、合格通知書とともに送付する入学手続要領に従って期限までに納入すること。

期限までに納入を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

3. 一旦納入した学費等納入金は一切返還しません。ただし、入学手続きを完了した者で、2026年3月31日(火)17時00分(必着)までに入学辞退届(任意作成)を提出し、入学時納付金の返還を申し出た場合には、入学金を除く授業料を返還します。
4. 学費納入金は、社会情勢によって次年度に変更することがあります。

8. 個人情報保護について

個人情報保護に関して、藤田医科大学大学院医学研究科では次の通り扱います。

1) 利用目的

出願にあたり提供された氏名、住所、電話番号等の個人情報は、次に掲げる目的のみに利用します。

- (1) 入学者選抜、合格発表、入学手続等、入学までの一連の業務を行うため
- (2) その他、本大学院の教育・研究、学生支援に必要な業務を行うため

2) 第三者への個人情報の提供について

個人情報の第三者への提供は、次に掲げる場合に限ることとします。

- (1) 本学大学院医学研究科入学者について、名簿作成及び各種連絡通知等に使用するために藤田学園の同窓会等に提供する場合
- (2) 法律で定められた適正な手続きにより情報開示を求められた場合
- (3) クレジットカード発行会社が行う不正利用検知・防止のために、氏名、電話番号、emailアドレス、インターネット利用環境に関する情報等を、クレジットカード発行会社へ提供する場合(利用されているカード発行会社が外国にある場合、これらの情報は当該発行会社が所属する国に移転される場合があります)

9. 入試に関する個人成績の開示について

入学試験(学力試験)の個人成績について、受験生本人(不合格者に限る)から申請があった場合に限り次の要領で開示します。

1) 開示内容 学力試験(科目別)の得点、平均点

2) 申請期間 2026年5月1日(金)～2026年5月15日(金)

申請期間内の消印があるものに限り受け付けます。なお、開示は2026年6月10日(水)からとします。

3) 申請書類

- (1) 学力試験個人成績開示申請書(本研究科所定の用紙を使用)
- (2) 受験票(コピー不可)
- (3) 返信用封筒

宛名を明記した**定形封筒**(サイズ120mm×235mm)に切手460円(2枚まで。例:350円切手と110円切手)を貼付してください。簡易書留にて返信します。

4) 申請先

〒470-1192 愛知県豊明市杓掛町田楽ヶ窪1番地98 大学2号館3階
藤田医科大学大学院 医学研究科入試成績開示係

- ・申請に際して、本人確認のため受験票が必要になりますので、大切に保管してください。受験票を紛失した場合は、如何なる理由でも開示しません。
- ・受験票は成績に同封して返却いたします。

10. ティーチング・アシスタント、リサーチ・アシスタント制度

1) ティーチング・アシスタント制度

藤田医科大学大学院では、大学院学生が藤田医科大学の教育業務を補助することにより、学部における教育効果を高め、大学院学生に教育指導の機会を与え、後継者の育成を図るとともに奨学に資するため、ティーチング・アシスタント（T・A）制度を設けています。

T・Aの手当は、授業時間1時間当たり2,000円とし、1コマ2時間として算定します。ただし、支給対象時間は、前後に準備や片付け等に要した時間を除く授業時間とします。また、T・Aの担当時間は年間180時間（90コマ）を上限とします。

2) リサーチ・アシスタント制度

藤田医科大学大学院では、大学院学生が藤田医科大学の行う学術研究で、かつ創造性に富んだ研究プロジェクト等を補助するため、大学院生によるリサーチ・アシスタント（R・A）制度を設けています。

11. 奨 学 金

- 1) 日本学生支援機構：第一種奨学金、第二種奨学金
- 2) 学校法人藤田学園奨学金、学校法人藤田学園同窓会奨学金など

12. 外国人留学生に対する奨学金・経済的支援

1) 学校法人藤田学園国際交流助成金

外国人留学生には、全学で年間1名、学納金及び本学宿舍費用が全額免除される制度があります。助成金希望者は受験を希望する専門分野の指導教授を通じて申請をしてください。

2-1) 【国費】文部科学省 大使館推薦による国費外国人留学生（研究留学生）

文科省の募集要項を確認の上、在外の日本国大使館・総領事館を通じて申し込みをしてください。

2-2) 【国費】文部科学省 大学推薦による国費外国人留学生（研究留学生）

文科省の募集要項を確認の上、受け入れ講座にご連絡ください。

13. 学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険

本大学院医学研究科では、学生が教育研究活動中に被った災害を補償救済するため、(財)日本国際教育支援協会が行っている「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」へ、入学時に全員加入(大学負担)する手続きを行っており、入学後は安心して教育研究活動が可能です。

14. インターネット出願方法

1) 出願手続き上の注意

①出願書類のうち、「履歴書」「志望理由書」等必要書類はインターネット出願ガイドンスの **出願書類** から印刷してください。

②出願登録上、一部の文字についてはエラーになる場合があります。氏名や住所などの個人情報を入力する際に、文字が登録エラーになる場合は常用・当用漢数字を使用してください。

例) 高木→高木 山崎→山崎 (ローマ数字) III→(算用数字) 3
(丸数字) ①→(括弧書き数字、全角数字) (1)

合格通知書等に記載される文字は、入力された常用・当用漢数字を用いていますので、ご了承ください。

2 インターネット出願の手順

☑手順1 事前準備

下記①～⑤を準備してください。

①インターネットに接続できるパソコン、スマートフォン、タブレット等

OSやブラウザについては、最新の状態にアップデートしておいてください。

なお、「インターネット出願ガイダンス」ページで推奨環境を公開しています。

②メールアドレス

常時利用しているメールアドレスを登録してください。

登録いただいたメールアドレス宛に、入試に関する諸通知が配信されます。

③A4サイズの印刷が可能なプリンター

「出願確認票」や「宛名ラベル」等を印刷する際に必要となります。

学校・勤務先等のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービス等でも構いません。

④「成績証明書」、「卒業(見込)証明書」等の出願書類

「成績証明書」、「卒業(見込)証明書」等は、準備に時間がかかりますので、時間に余裕をもって準備してください。

⑤顔写真データ

1) スーツ着用、正面上半身(胸から上、顔がはっきりわかるもの)、脱帽、背景無地にて出願時から3か月以内に撮影した無加工・無修正のもの。

2) 縦横比=4:3の顔写真データが必要となりますので必ずアップロードしてください。自撮りは不可(出願時に登録された顔写真は原則学生証に使用します。)

3) データ形式はJ P E G (jpeg-jpg)、画像の容量は3MB以内のもの。

☑手順2 インターネット出願画面へアクセス

藤田医科大学ホームページにアクセスし、「インターネット出願」のバナー(リンク)を押してください。

<http://www.fujita-hu.ac.jp/>

藤田医科大学

検索

[TOP](#) > [医学研究科](#) > [医学研究科\(修士課程\)](#) > [医学研究科インターネット出願](#)

☑手順3 入試情報の入力

試験区分、選抜方法、領域、分野、指導教員等を入力してください。

☑手順4 個人情報の入力

個人情報(氏名、生年月日、顔写真データ、住所、電話番号、メールアドレス、出身学校情報等)を入力してください。

●顔写真データは画面上でサイズを調整して登録することができます。顔がはっきり映るよう適宜調整してください。

☑手順5 入力内容の確認

入力した内容に間違いがないか確認してください。

登録後は、入力内容の変更はできません。

☑手順6 入力内容の確認後、お支払い方法の選択

入学検定料支払い後は、入力内容の変更ができません。入力内容をよく確認し、入学検定料をお支払いください。

入学検定料の支払い方法には、次の3つがあります。

①クレジットカード決済は出願情報登録時に選択します。最後に **お支払い** のボタンを押してください。

本学の「インターネット出願」ではクレジットカード決済において、「3Dセキュア 2.0

(本人承認サービス)」を導入しています。クレジットカード決済を選択した場合、取引の不正利用検知・防止のために、登録した氏名、電話番号、インターネット利用環境に関する情報等をクレジットカード発行会社へ提供させていただきます。

なお、クレジットカード決済を選択する場合、事前にクレジットカード発行会社のサイトで「3Dセキュア 2.0」の登録を行ってください。「3Dセキュア 2.0」の詳細および登録方法は、クレジットカード発行会社にお問い合わせください。

※本人認証サービス 3Dセキュア 2.0 とは、決済時にクレジットカード番号、有効期限等の情報に加え、お客さまがクレジットカード発行会社にあらかじめ登録したパスワードをご入力いただくことでカード会員さまご本人であることの認証を行うサービスです。

対象ブランド：Visa・Mastercard・JCB・Amex・Diners

②コンビニエンスストア、ペイジー（銀行ATM）による支払いは代行会社ペイジェント社の画面に遷移後、支払い時に必要な番号が表示されます。

番号は、必ずメモをとるか、画面を印刷してください。最後に **購入したサイトへ戻る** のボタンを押してください。

③インターネットバンキングによる支払いは登録完了画面から選択後、各案内に従ってください。

注) 領収書（レシート）、取扱明細書兼領収書等は保管してください。

☑手順7 登録完了・検定料の支払い

ここまでの入力で、試験情報、個人情報を入力、検定料の支払いの受付は一旦完了です。

1. 「マイページログイン情報(ユーザID(メールアドレス)、パスワード、整理番号)」を必ずメモ、印刷してください。出願内容の確認時に必要です。

2. 検定料の支払い方法でクレジットカード以外を選択した場合は、各（金融）機関で速やかに支払い手続きを済ませてください。

●お支払いの際、入学検定料を支払った整理番号の出願書類しか受理できません。修正等を理由に、新たに登録し直した場合は、整理番号に注意して検定料のお支払いや出願書類の提出等の手続きを進めてください。

☑手順8 出願書類の提出（直接持参、郵送）

1. 出願書類をA4サイズ用の紙を使用してプリンターで印刷してください（出願書類についてはP.3「4）提出書類」を参照してください）。

2. 封筒（角形2号、240mm×332mm）のおもてに宛名ラベルを貼り付け、出願書類を封筒に入れ、大学院医学研究科まで書留速達郵便で送付していただくか、直接持参してください。

3 受験票の印刷

☑手順1 インターネット出願画面へアクセス

●**2** インターネット出願の手順の☑手順2と同様の手順で「インターネット出願ガイド」の画面にアクセスしてください。

☑手順2 ☞ガイダンス画面の「マイページ」へログイン

- ①ガイダンス画面トップの「マイページ」ボタンを押してください。
- ②登録したID（メールアドレス）、パスワードを入力して、「ログイン」ボタンを押してください。

☑手順3 ☞受験票の印刷

- 申し込み一覧の各種確認から「受験票」ボタンを押し、表示される受験票を印刷してください（大学から受験票を郵送することはありません）。
- 印刷した受験票は、受験及び入学手続きの際に必要なため、各自大切に保管してください。

15. 受験者注意事項

- 受験の際は、受験票が必要です。インターネット出願システムへアクセスし、ガイダンス画面の「マイページ」にログイン後、受験票を印刷して試験当日に必ずご持参ください（前頁「3 受験票の印刷」の手順を参照）。
- 試験会場の下見については、建物内への立ち入りはできません。会場までの交通機関、道順、所用時間、会場の位置の確認に留めてください。
- 試験開始後 20 分以上遅刻した者は試験室に入ることはできません。
- 試験時間中机の上に置けるものは、受験票、英語辞書（電子辞書は除く）、鉛筆、シャープペンシル、プラスチック製消しゴム、鉛筆削り、時計（計算・辞書機能等がついている多機能時計を除いた、時計機能のみの腕時計及び小型の卓上時計）です。これ以外の使用は認めません。
- 試験会場では、スマートフォン及び携帯電話は、電源を切ってカバンの中に入れてください。（試験中に所持していた場合は、使用の有無にかかわらず不正行為と見なしますので、特に注意してください。）
- 試験室においては、すべて監督者の指示に従ってください。
- 午前・午後にかかる試験区分については、昼食を必ず持参し、自席にて食事してください。

学校保健安全法で出席の停止が定められている 感染症にかかった場合の対応等について

- 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・はしか等）にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、受験をご遠慮願います。なお、受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として入学検定料の返還は行いません。
- なお、感染症の感染状況によっては記載されている試験内容と異なる方法で選抜を実施することがあります。変更が生じた場合は本学のホームページにて随時公表いたします。

16. 専門分野別研究内容一覧

専門分野	担当教員名	研究の内容および研究テーマ
神経発生学 Developmental Neurobiology	難波 隆志	<p>我々の脳がどのように形作られたのかを理解する学問である神経発生学は、脳の正常発生を理解するのみならず、神経発達障害などの病因解明に結び付く。神経発生の広範な理解の為に、組織・形態学、細胞生物学、発生生物学、神経科学、生化学、分子生物学、ヒト進化学等の最先端の知識と技術を幅広く修得する必要がある。本専攻分野ではそれらの技術・知識の修得とそれを基にした神経発生の包括的な理解と、世界で通用する研究者の育成を目標とする。</p> <p>(研究テーマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 神経発達障害の病因をヒト脳進化の観点から解析する 2. 胚性幹細胞 (ES 細胞) の運命決定機構における Ngn1・Ngn2 の機能解析 3. ヒト疾患特異的 iPS 細胞による疾患病態解析と新規治療法の開発
分子病態解析学 Biomedical Molecular Sciences	高橋 和男	<p>細胞内では遺伝子を基に様々な化学反応や活性が生じるが、それぞれの分子レベルで区切った一定の集合を総体 (-ome; i. e. genome, transcriptome, proteome, metabolome) と呼び、細胞の活動はこの総体をつなぐネットワークを理解することが重要である。疾患機序を細胞レベルから理解することを目指し、ゲノム、トランスクリプトーム、プロテオーム、メタボロームの解析を行う。分子病態解析学講座では、細胞生物学、形態学、生化学、病理学、分子生物学的手法を習得し、研究テーマへ応用する。特に質量分析法によるタンパク質、翻訳後修飾、代謝物を中心とした分子病態解析を行う。また、臨床医学講座との連携により、患者検体を解析し臨床情報との比較を行うことで、新たなバイオマーカー創出、新規治療ターゲット分子の同定を目指す。</p> <p>(研究テーマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. タンパク質の翻訳後修飾と病態解析 2. 代謝物の病態解析 3. 高分解能質量計による定量的プロテオミクス
分子腫瘍学 Molecular Oncology	鈴木 元	<p>プラスミドによる細胞の形質転換、遺伝子発現の定量法 (mRNA、たんぱく質)、細胞の各種表現型測定、マウスの取り扱い、基本的バイオインフォマティクス解析等の実験法を通じて、分子腫瘍学の基礎を学ぶための研究指導を行う。</p> <p>(研究テーマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ゲノムインスタビリティの理解とその応用 2. がん代謝の理解とその応用 3. がん幹細胞の理解とその応用 4. 抗がん剤感受性の理解とその応用 5. がん免疫の理解とその応用 6. マイクロアレイ、質量分析等網羅的解析手法を用いたがん研究と臨床検査への応用 7. 酵素抗原法の病態解明への応用
分子病理学 Molecular Pathology	浅井 直也	<p>病気がどのようなメカニズムで発症するかについて様々な視点、技術、手技を通して解析し、明らかにすることが重要である。分子病理学ではこれまでの形態観察法に加え、遺伝子、蛋白など分子レベルでの理解を統合して考える力を身につける。</p> <p>(研究テーマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ヒト iPS 細胞由来の膀胱癌モデル 2. アクチン結合蛋白 Girdin の癌における機能解析 3. 細胞競合による癌細胞排除機構 4. 新規間葉系幹細胞マーカー Meflin の癌および神経疾患における機能解析

専門分野	担当教員名	研究の内容および研究テーマ
ウイルス学 Virology	村田 貴之	分子生物学や組換えウイルス作成などの手法を用いて、EB ウイルス、サイトメガロウイルス、アイチウイルス、ロタウイルス、B 型肝炎ウイルス等の増殖機構や病原性発現機構、がん化機構についての研究の指導を行う。 (研究テーマ) 1. ピコルナウイルス科に属する新規のアイチウイルスのゲノムの複製過程の解析 2. ロタウイルスの抗原構造の解析とロタウイルス感染における免疫応答の解析 3. B 型肝炎ウイルス複製メカニズムの解明と創薬 4. EB ウイルスの増殖機構とがん化の解析 5. サイトメガロウイルス複製メカニズムの解明と創薬
生理学 Physiology	長崎 弘	分子生物学、遺伝子編集、各種遺伝子導入、細胞移植の手法を用いて、視床下部の発生、再生について課題の研究指導を行う。 (研究テーマ) 1. 胚性幹細胞による視床下部機能異常症の再生治療 2. 胚性幹細胞からの視床下部および下垂体幹細胞の誘導と機能解析 3. 視床下部神経核の発生と機能分化
神経生理学 Neurophysiology	山下 貴之	動物行動の神経基盤を主に電気生理学的手法と光遺伝学を用いて解明することを目標としている。実験動物としてマウスを用い、嗜好性（いわゆる「好き・嫌い」）や社会性行動のメカニズムに重点を置いた研究指導を行う。当講座の特長は、最先端の技術をいち早く取り入れ、あるいは、自ら開発し、研究に生かすところにある。 (研究テーマ) 1. マウスにおける触覚嗜好の神経基盤 2. マウスにおける社会性行動の神経基盤 3. X 線を用いた遠隔的深部脳神経操作法の開発 4. 大脳皮質における感覚/運動情報処理機構 5. 疾患モデル動物の神経生理学的研究
生化学 Biochemistry	下野 洋平	人体機能の解明、腫瘍の病態解明、腫瘍の治療法開発を課題とする研究の指導を行う。研究を進める上で、生化学、分子生物学、幹細胞学、腫瘍学等の手法を統合的に活用する。 (研究テーマ) 1. がんの発生、進展、転移に関わる「がん幹細胞」の解析 2. クロマチン構造に基づいた転写制御機構 3. エストロゲンを介した腫瘍進展機構 4. 胎内環境と生活習慣病との関連
薬理学 Pharmacology	近藤 一直	Ex-vivo および In-vitro 血小板凝集能評価の手法を用いて、抗血小板薬の薬効評価に関する研究指導を行う。 (研究テーマ) 1. テトラヒドロピオプテリン枯渇モデル動物を用いた循環器および神経疾患の研究 2. 血小板機能の薬理学的研究 3. ヒト臍帯静脈血管内皮細胞培養を用いた、炎症反応 4. 受容体機構と細胞内情報伝達機構についての研究
公衆衛生学 Public Health	太田 充彦	公衆衛生学、産業保健、健康政策における諸課題についての研究指導を行う。研究に必要な疫学的・実験的手法の研究指導を行う。健康政策立案におけるエビデンスとなる研究成果となることを目標とする。 (研究テーマ) 1. 労働者のメンタルヘルス・心理社会的ストレス 2. 作業関連性運動器障害 3. ストレス・依存症のスクリーニングの開発 4. 生活習慣病に関する疫学研究 5. 依存症（ニコチン依存、食物依存など）と公衆衛生

専門分野	担当教員名	研究の内容および研究テーマ
予防医学 Preventive Medicine	大神 信孝	<p>予防医学は疾病の予防と健康の保持増進、健康障害の早期発見と早期治療、障害による生活の質の低下防止と回復を図ることを目的とする。本専門分野では、予防医学の基本を理解するとともに、その研究を計画・実施するための科学と技術を修得する。(研究テーマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各種疾患の疫学研究 (HIV/AIDS、がん、難病など) 2. 保健統計に関する研究
微生物学 Microbiology	土井 洋平	<p>細菌学、分子生物学、ゲノム科学等、複数領域の手法を有効に活用し、細菌感染症の予防・診断・診断の向上につながる基礎研究・トランスレーショナル研究の発案・実行・論文作成の指導を包括的に行うと共に、医学研究者として相応しい研究態度を涵養する。(研究テーマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多剤耐性グラム陰性菌の新規耐性機構、新規標的部位の同定・解析 2. 薬剤耐性菌・耐性プラスミドの分子疫学タイプング法の開発と実用化 3. 猫ひっかき病の原因菌 <i>Bartonella henselae</i> の血管増殖因子の同定・解析
法医学 Legal Medicine	磯部 一郎	<p>細胞生物学及び化学分析の手法を用いて、法医学実務に関わる、内因性突然死や薬物が関与した病態生理などの課題について研究指導を行う。(研究テーマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 向精神薬や依存性薬物の細胞機能に対する影響の解明 2. 生体リズムと種々の病態との関連についての検討 3. 突然死における内因性カンナビノイド関与の検討 4. 環境因子によるエピジェネティック変化の研究
医学教育学 Medical Education	大槻 眞嗣	<p>SCAT (Steps for Coding and Theorization)、又は、KH コーダーを用いた分析により、学修者に生じた変化を解明する。(研究テーマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育プログラムにおける学修者に生じた変化についての解明 2. 研修プログラムに参加した受講者に生じた変化についての解明
神経・腫瘍のシグナル解析学 Neural and Tumor Signal Analysis	貝淵 弘三	<p>細胞内シグナル伝達機構を分子レベルで解明することにより、精神神経疾患や癌の病因・病態の解明、治療薬の開発に関する研究を行う。生命科学の深い知識と洞察力を持ち、生化学や細胞生物学、分子生物学、生理学、行動薬理学などの技術を総合的に活用して様々な生命現象や病態の解明に関する研究指導を行う。(研究テーマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新規リン酸化プロテオミクス法の開発 2. 細胞内シグナルによる細胞興奮性の制御機構の解明 3. 細胞内シグナルによるシナプス可塑性と学習・記憶の制御機構の解明 4. 細胞内シグナルによる精神神経疾患治療薬の作用機序の解明
分子遺伝学 Molecular Genetics	倉橋 浩樹	<p>臨床遺伝学の分野、とくに疾患の遺伝学的発生メカニズムの解明とその新規診断法の開発、治療介入などに関する研究を行う。とくに、当該研究室の主たる研究テーマである、染色体異常(構造異常、異数体)の発生メカニズムの研究指導を行う。(研究テーマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 染色体異常の発生機構の解析 2. 不妊症、習慣流産の発症機構の解析 3. 未診断症例の遺伝子変異解析 4. 新規遺伝子診断・出生前診断・着床前診断法の開発研究 5. 遺伝カウンセリングに関する研究
難病治療学 Therapies against Intractable Diseases	土田 邦博	<p>分子生物学や細胞生物学の基本的な手法を用いて、難治性神経筋変性疾患の病態解明と治療法開発に関する課題の研究指導を行う。(研究テーマ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 遺伝性神経筋変性疾患や老化による筋萎縮病態、肥満、脊椎疾患の治療法の開発 2. サイトカイン・細胞増殖因子の細胞内情報伝達機構の解明 3. エクソソームなどのナノ粒子によるナノメディシン 4. 幹細胞制御による筋骨格系疾患の薬物治療用 5. 臓器間相互作用

専門分野	担当教員名	研究の内容および研究テーマ
システム医科学 Systems Medical Science	宮川 剛	遺伝子改変マウスを用いた網羅的行動解析を行い、精神疾患・神経疾患モデルマウスの行動評価について研究指導を行う。また同モデルマウスから取得した、オミクス解析データ、in vivo 神経活動イメージングデータを用いて、バイオインフォマティクス手法、pythonによる行動予測、デコーディング等を実施する。 (研究テーマ) 1. 遺伝子改変マウスの表現型解析を起点とした精神・神経疾患の研究 2. 記憶・学習や情動性などの脳の高次認知機能のシステム解明
医用データ科学 Biomedical Data Science	吉本 潤一郎	機械学習を中心とする人工知能技術やデータベースを活用し、神経精神疾患やメンタルヘルスに関連する幅広い分野のデータ駆動研究に関する指導を行う。対象とするデータは、ゲノム情報から脳機能画像まで多岐に渡る。 1. 機械学習とその医学・工学応用 2. 報酬学習の神経基盤を理解するための計算生物学的アプローチ 3. 精神疾患診断・層別化のための脳活動データ解析 4. 神経科学におけるデータ駆動型研究を支援するバイオデータベースの開発
神経行動薬理学 Behavioral Neuropharmacology	永井 拓	知識・情動・意思といった精神活動はヒトが生きていく過程で欠かすことのできない脳機能であり、これらのバランスにより脳の多様性が生み出されている。脳は内外の環境を絶妙に感知および制御することによって自身のシステムを破綻することなく維持している。本分野では、行動薬理学の実験手法を用いた高次脳機能解析を中心に、精神活動の神経基盤やその破綻による精神疾患の発症メカニズムを分子から細胞、回路、そして個体レベルで多階層的に解明する研究について指導を行う。 (研究テーマ) 1. 薬物依存症に関する研究 2. パーキンソン病治療薬による意思決定障害のメカニズムの解明 3. 精神疾患の分子病態と治療薬の開発に関する研究 4. 情動行動制御に関わる脳内基盤の解明に関する研究
腫瘍遺伝子制御学 Tumor and Gene Regulation	永野 修	がん細胞およびその周囲に存在する各種細胞の特性を分子レベルで解析し、がんが治療抵抗性となるメカニズムを解明することを目的として研究を行う。 (研究テーマ) 1. 治療抵抗性腫瘍の性状解析と新規治療戦略の構築 2. がん微小環境を構築する分子関連の解析とその制御戦略の考案
先進がん免疫療法 学 Cellular Immunotherapies for Cancer	三原 圭一郎	分子生物学や組換えウイルス作成などの手法を用いて、先進がん免疫療法の基礎についてベクター作成から解析方法まで関連する幅広い分野の課題の研究指導を行う。 (研究テーマ) 1. 新規 CAR-T 細胞の開発とその臨床応用 2. CAR-T 細胞の疲弊化メカニズムの解明とその抑制 3. 新規抗原に対するヒト抗体の同定と遺伝子解析 4. CD38-CAR-T 細胞の臨床応用 5. サイトカイン放出症候群の病態解明とその抑制

※予定であり、変更の生じる場合があります。

17. 試験会場地図

試験会場：本学 大学2号館



大学2号館

- ・ 試験当日は、学内が混雑しますので公共交通機関でお越しください。
- ・ 学内には受験者用駐車場はありません。
- ・ 学内全面禁煙です。

18. 交通案内

名古屋市営地下鉄 利用の場合



名鉄電車 利用の場合

